

令和六年 俳句研修会作品紹介

五鹿屋第二地区環境保全推進委員会

雁来り 能登の復旧 今いかに	たか君	老楓 地域とともに 明日を観る	たか君
秋桜に 望郷の風 あらためて	ともさん	枝打ちし 毛虫の骸 むくろ 死生観	ともさん
東雲の 稲穂の中や 歩をすすむ	やん坊	小ぬか雨 きりりと立つや 古楓	やん坊
秋剪定 木口に見ゆる 老いの影	のりさん	市民展 疎遠の友は カエデ描く	のりさん
見渡せば コスモスの坂 空青し	すけさん	しかと立つ 老いし楓に 手を合わす	すけさん
競い合い 柿とる我と カラスかな	はる君	幼き日 舞い落つ楓 くるくると	はる君
ひつじ田や 着地気球を 進う吾子よ	ようさん	駆ける孫 かえで日傘に 祖母の笑み	ようさん
講習や おもしろき日の 秋の風	いち君	半月や ハチ退治した 義母自慢	いち君
暑さ耐え 里いも握り 君に供える	マコさん	楓のもとにかくれんぼしたあの日かな	マコさん
甘におう まえば 前庭ただよう 金の花	なか君	田んぼ道 あとさきか 後光翔ける しまトンボ	なか君